

1. イベント概要

期 間：平成30年7月8日（日）13:00～13:30
 会 場：新潟県立歴史博物館常設展示室（新潟県のあゆみ/近現代の新潟）
 内 容：大河津分水の実現に至る苦労やエピソードが紹介されました。
 主催者：新潟県立歴史博物館 参加者数：およそ30名

新潟県立歴史博物館常設展示ワンポイント解説
大河津分水ができるまで
 平成30年7月8日（日）13:00～13:30（30分程度）
 新潟県立歴史博物館常設展示室
 新潟県のあゆみ 近現代の新潟
 ※常設展示の観覧料が必要となります（ただし、中学生以下無料）
申込不要
 暑れ用「有蓋川」を造り、大川に生まれ変わった大河津分水。その実現に至る苦労やエピソードを紹介いたします。
 （ゲスト解説者）樋口 勲 さん
 （信濃川大河津資料館友の会）
 ※ゲスト解説は不定期開催となります。各月の予定表やHPでご確認ください。
 新潟県立歴史博物館 The Niigata Prefectural Museum of History
 新潟県新潟市中央区大川町1-1-1 電話：025-222-2111

本日のワンポイント解説
 第1回ゲスト解説
大河津分水ができるまで
 樋口 勲氏
 午後1時～1時30分
 会場はこちらです
 ご自由にご参加ください
 信濃川大河津資料館



常設展示の大河津分水コーナーにて、ゲスト解説が行われました。

2. イベント状況

新潟県立歴史博物館の常設展示ワンポイント解説にて、大河津分水の請願の歴史や建設技術などが紹介されました。当日は30人程の方々がお集まりになり、メモを取るなど熱心に解説を聞く姿から、大河津分水への関心の高さが伺えました。



江戸時代の歴史的な水害や、現在の場所に大河津分水をつくることになった理由などから解説が始まりました。



横田切れの絵に隠された史実や、大河津分水工事に使われた大型機械の動き方など、写真を見ただけではわからないことも解説されました。



今から約100年前につくられた自在堰と洗堰の図面を特別に公開しました。当時の手書き図面の精巧さに感心されていました。



最後に、現在着手されている大河津分水路河口改修工事についての説明もあり、より理解を深めていただきました。



解説終了後、改めて常設展示をじっくり見学される方も多く、講師に質問される方もいらっしゃいました。

参加者の声

県立歴史博物館には何度も来ています。信濃川大河津資料館にも1度訪問したことがあります。でも、見ていだけではわからないことが多いです。今回は解説してもらえとのことで、自分の知識をより深めることができると思い、参加しました。展示資料と合わせて解説してもらい、分かりやすく勉強になりました。とても面白かったです。

（津南町在住 男性）